

➤ 1年 悠備館タイム 研究発表会

1月27日に行われ、フィールドワークで訪問した各事業所の方や岩高魅力化委員の方をお招きして、審査をしていただきました。商業・少子高齢化・文化、スポーツ・ライフラインと各分野の課題を設定し、11グループが解決に向けての提案をしてくださいました。

審査の結果1位は文化・スポーツ振興分野の「化女沼・古代の里」班でした。

発表会終了後、来賓の方にお話を伺いましたが、「とても良い発表で聞きに来て良かった」、「もっと多くの人に聞いてほしい」、「2年生でもこのような取り組みをした方が良い」、「課題の設定が大学生レベルで素晴らしい」という意見を頂戴しました。



➤ 3月1日 卒業式（式辞要旨）

厳しい寒さをもたらした冬が気忙しく過ぎ、校舎を囲む木々も新しい季節を待ちわびている早春の候、第74回卒業証書授与式を挙げていきますことを大変喜ばしく思います。

ただいま卒業証書を授与されました72名の皆さん、卒業おめでとうございます。心からお祝いを申し上げます。貴重な3年間の高校生活ですが、新型コロナウイルス感染症により、皆さんが目標にしていた部活動の大会や学校行事も相次ぎ中止となり、非常に悔しい、残念な思いをした人も多かったのではないのでしょうか。しかし、皆さんは困難に負けず自分の課題と向き合いながら成長を続け、今日の日を迎えました。その努力は本当に尊いものです。

さて、皆さんはこの4月から成人となり、大人として自覚を持った行動や積極的な社会への参画が求められます。これは140年ぶりに民法が改正されたことによる大きな変革ですが、今後の社会はどう変化していくのでしょうか。内閣府の定めたSOCIETY5.0（超スマート社会）では、AIやロボットの力を借りて、人間がより快適に活力に満ちた生活を送れる社会を目指すとしています。

しかしながら、全ての問題がテクノロジーによって解決できるわけではありません。一人一人が自らの人生で直面する課題を乗り越え、困難を克服していく必要があります。そこで皆さんに大事にしてほしいこと、それは「レジリエンス」です。

これは、「弾力性」「回復力」「しなやかさ」を表す言葉で、トラブルや困難な状況の際に、逆境をはねのけて回復することを表しています。

IPS細胞の研究で有名な山中伸弥博士の恩師によれば、「レジリエンスは、生まれつき備わっているのではなく後からでも鍛えることができる。それを鍛えるのは感謝の気持ちである」とのこと。他人に感謝し、その思いに報いたいと思うことで人は強くなれる。それを忘れないで下さい。

また、感謝の心を持って生きる人が増えれば、安心して暮らせる暖かな社会ができるはずで。その様な社会をぜひ皆さんの手で実現してもらえよう願ってやみません。

さて、改めまして、保護者の皆様、本日は誠にありがとうございます。愛情を注ぎ大切に育ててこられたお子様の、成長された姿に感慨もひとしおのこととご推察申し上げます。皆様方には、本校の教育活動推進のために、温かいご支援と多大なるご協力を賜りましたことをこの場をお借りして、教職員を代表し、心から厚くお礼を申し上げます。

結びに、卒業生一人一人が、岩出山高校で学んだ誇りを胸に、今後ますます飛躍されることを祈念して、式辞といたします。

